



NPO PTPL “ともいき” 便り No.115

平成 29 年 (2017 年) 1 月 20 日発行

■大寒 (たいかん) 1 月 20 日から 2 月 3 日までの節気

「大寒」の節気です。

文字通り、一年中で一番寒く各地の最低気温が記録されるころです。まさに「小寒」の「こさむ」から「おおさむ」の時季です。今日は冬、明日は春と行きつ戻りつ、三寒四温の日々です。

そして、「大寒」が終わると「立春」、季節は確実に春に向かっていきます。

さて、大寒の節気中の 2 月 3 日は「節分」です。もともと節分とは季節の分かれ目をいい、「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことをさします。しかし、昔は立春が新年の始まりにも相当する大事な節目だったため、その前日の節分は大切な日でした。そこで他の節分よりも重要視されるようになり、節分といえば立春の前日をさすようになりました。

私が子どものころは、どの家庭でも豆まきが行われ、各家庭から「鬼は外、福は内」という声が聞かれましたが、最近ではマンションなど防音性の高い住居などの影響はあると思いますが、あまり聞かれなくなったように感じます。

そのかわりといっちはなんですが、近年、恵方巻きを取り入れる家庭が増えているようです。ある統計によると、近畿地方中心だった恵方巻きが近年猛烈な勢いで全国区になっているようです。

●恵方巻きの起源や発祥については諸説あり、1932 年に大阪鮭商組合が「節分の日に丸かぶり ～この流行は古くから花柳界にもてはやされていました。恵方に向けて無言で壺本の巻寿司を丸かぶりすれば其の年は幸運に恵まれる」と書いたチラシを配布。当時のチラシが「本福寿司」(大阪中央区)に残っているそうです。

●呼び名もいろいろ

★恵方を向いて福を巻き込む巻き寿司を食べるから「恵方巻き」(また、豆まきの“まき”をもじっている)

★恵方を向いて食べる寿司なので「恵方寿司」

★丸かぶりするので「丸かぶり寿司」

このほかにも「幸福巻」「招福巻」「開運巻き寿司」など、地域やお店によって様々な呼び名があるようです。

ところで、節分は立春・立夏・立秋・立冬の前日が節分で、特に立春前の節分に「豆まき」や「恵方巻き」を食べる習慣が定着していましたが、「恵方巻き」に関しては2月(立春)の節分だけでなく5月(立夏)に春の恵方巻き、8月(立秋)に夏の恵方巻き、11月(立冬)に秋の恵方巻きを提供するところが出てきているようです。お寿司の好きな私にとっては嬉しいことです。さらに恵方巻きも単純な太巻きからどんどんバリエーションが広がり、いまや海鮮などの寿司のみならずスイーツなどもあるようです。

年に4回「恵方巻き」を食べるようになれば、「節分」が年4回あることが定着するかもしれませんね。

平成29年の恵方は「北北西やや北」。恵方巻きを食べて福が招かれるよう願っています。

1月28日(土)が「旧元日」です。NPO PTPL ではこの日を「ともいきの日」と提唱しています。

佐藤 誠(NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和 雑感彼是

旧元日を「ともいきの日」と呼び、これからの新しい日本の国、新しい日本人の心について考え行動を開始する日にしましょう。と2011年にメッセージをしたためましたので、再度ご紹介します。

- PLANT A TREE は“人と人、人と自然のコミュニケーション”を意図し、PLANT LOVE は“人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさ”を意図します。つまり NPO PTPL は“人と人、人と自然のコミュニケーション”の豊かな社会、“人への、自然への思いやり、いたわり、やさしさ”の溢れる社会づくり、私たちが提唱する「ともいき社会」づくりが目標です。

- 「ともいき」とは、“祖先と共に、人と共に、自然と共に、地域と共に、結び合い、助け合い、支え合い、譲り合って生きる”という新しい生活観であり、価値観です。

人びとがこの生活観、価値観をもって毎日生活することにより「ともいき社会」が次第に実現されていきます。

そしてその道しるべとなるのが、直進する時間の価値観の現行カレンダーと自然のリズムを尊重した回帰循環する時間の価値観である旧暦を合わせた新しい暦、「ともいき暦」です。

- 経済・科学・技術の進歩、発展、成長は、それ自体が目的ではなく、「ともいき社会」づくりのための手段であり、「ともいき社会」づくりに同調し役立つべきです。

“人間・自然・環境・地域・地球・世界の平和”について考え、よりよい「ともいき社会」づくりのための経済・科学・技術であって欲しいものです。

危うい時代に直面しているにもかかわらず、私たち人類は、まだ本当の危機に気づいていないのではないのでしょうか。

いまだに経済の成長拡大、グローバル化、そして科学・技術の進歩発展という価値観を信じ込み疑う様子もありません。

時代、社会、人間は時と共に進歩してゆくはずだし、進歩しなければならない、歴史は前へ前へと加速して進み、後戻りすることなく、まっすぐに進み発展、成長してゆく。

私たちの時間は一般的にそのような時間として私たちを駆り立てています。経済と科学・技術の進歩、発展、成長があるから“自分の幸せ”があると妄信しているのです。

だからこそ、直進する速度をさらに高めながら経済活動に集中しているでしょう。

しかし、このような価値観に対して、いま一種の疲労感徒労感を持ち始めた人々が現れてきました。

私たちが失いつつある、もうひとつの時間の価値観を感じ始めた人びとです。

その時間とは巡りゆき巡り帰る“不易”の時間、つまり自然のリズムです。

「ともいき社会」づくりあつての経済・科学・技術の進歩、発展、成長なのです。

これが私たち NPO PTPL が提唱する“ともいきの社会”づくりであり、21 世紀に生きる知恵であり希望なのです。

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-3-3 虎の門南ビルスタンダード会議室虎ノ門南店 4 階—A

電話：03-6459-0264 FAX；03-6459-0284

Email：info@ptpl.or.jp